

令和4年度 5年国語 年間計画および評価の概要

横浜市立緑小学校

月	＜＜单元名・教材名＞＞	時数	＜＜单元目標＞＞	＜＜観点別評価規準＞＞		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	教えて、あなたのこと	1	◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。 ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。	「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。	進んで目的や意図に応じて話の内容を捉え、今までの学習をいかして、インタビューをしたり、紹介したりしようとしている。
	かんがえるのって おもしろい 続けてみよう	1	◎詩を音読することができる。 ○詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げることができる。	詩を音読している。	「読むこと」において、詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げている。	進んで感想を共有することで自分の考えを広げ、今までの学習をいかして、音読しようとしている。
	なまえつけてよ	4	◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。 ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる	語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	進んで、登場人物の相互関係を描写を基に捉え、学習課題に沿って、感想を伝え合おうとしている。
	図書館を使いこなそう	1	◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気づくことができる。	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気づいている。		積極的に、学校図書館の仕組みを知って読書に親しみ、学習課題に沿って、本を探し、記録カードに書こうとしている。
	漢字の成り立ち	2	◎漢字の由来、特質などについて理解することができる。	漢字の由来、特質などについて理解している。		進んで漢字の成り立ちについて関心をもち、学習課題に沿って、それらを理解しようとしている。
	春の空	2	◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。	親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。	積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って、春らしいものや様子を文章に書こうとしている。
5月	きいて、きいて、きいてみよう 【コラム】インタビューをするとき	6	◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 ○話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。 ○情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる	・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。 ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。	粘り強く目的や意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって、インタビューをしたり、報告し合ったりしようとしている。
	漢字の広場①	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。	第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、学習課題に沿って、文を書こうとしている。
	見立てる 言葉の意味が分かること 【情報】原因と結果	7	◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 ○文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。	・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って、筆者の考えに対する自分の考えを発表しようとしている。
	和語・漢語・外来語	2	◎語句の由来などに関心をもつことができる。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けすることができる。	・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けしている。 ・語句の由来などに関心をもっている。		進んで和語・漢語・外来語の由来などに関心をもち、学習課題に沿って、それらを理解しようとしている。
	日常を十七音で	3	◎俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えることができる。 ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる ○俳句に対する感想を伝え合い、自分の句のよいところを見つけることができる。	・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。	・「書くこと」において、俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えている。 ・「書くこと」において、俳句に対する感想を伝え合い、自分の句のよいところを見つけている。	粘り強く、構成や書き表し方に着目して、文言を整え、学習課題に沿って俳句を作ろうとしている。
	古典の世界(一)	2	◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方について知識を得ることができる。 ○親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方について知識を得ている。		進んで昔の人のものの見方や感じ方について知り、学習課題に沿って、古文を音読しようとしている。
	【情報】目的に応じて引用するとき	2	◎情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。 ◎引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる ○目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。	情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	進んで目的に応じて引用のしかたを理解し、学習課題に沿って、引用カードを書こうとしている。

6月	みんなが過ごしやすい町へ	10	◎引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。 ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮することができる。 ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。	文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	粘り強く、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見直しをもって、報告する文章を書こうとしている。
7月	同じ読み方の漢字	2	◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。	第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。		進んで同じ読み方の漢字の使い分けに関心を持ち、学習課題に沿って、それらを理解しようとしている。
	夏の夜	2	◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。	親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。	積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って、夏らしいものや様子を文章に書こうとしている。
	作家で広げるわたしたちの読書カレーライス	5	◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	進んで日常的に読書に親しみ、学習課題に沿って、本の魅力を伝え合おうとしている。
9月	からたちの花	1	◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。 ○詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げることができる。 ○詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。	思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらいかに話しかけ、考えを広げたりまとめたりしている。	進んで互いの立場を明確にし、学習課題に沿って、討論しようとしている。
	どちらを選びますか	2	◎互いの立場や意図を明確にしながらいかに話しかけ、考えを広げたりまとめたりすることができる。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。	思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらいかに話しかけ、考えを広げたりまとめたりしている。	進んで互いの立場を明確にし、学習課題に沿って、討論しようとしている。
	新聞を読もう	3	◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。 ○文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。 ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。	文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。	進んで、必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って、新聞記事を読もうとしている。
	敬語	2	◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。 ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。	・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。		進んで日常よく使われる敬語について関心を持ち、学習課題に沿って、使い方を理解し、慣れようとしている。
	たずねびと	6	◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。 ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。	語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想	粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見直しをもって、物語に対する思いや考えを伝え合おうとしている。
	漢字の広場②	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。	第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、学習課題に沿って、文を書こうとしている。
	漢字の読み方と使い方	2	◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。 ○語句の由来などに関心を持ち、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解することができる。	・第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・語句の由来などに関心を持ち、仮名及び漢字の由来、特		進んで漢字の読み方や使い方について関心を持ち、学習課題に沿って、それらを理解しようとしている。
	秋の夕暮れ	2	◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。	親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。	積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って、秋らしいものや様子を文章に書こうとしている。

10月	よりよい学校生活のために【コラム】意見が対立したときには	6	◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。 ◎互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 ○情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 ○話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。 ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。	・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確	粘り強く互いの立場や意図を明確にしながらか、学習の見通しをもって、身の回りの問題を解決するために話し合おうとしている。
	漢字の広場③	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・文の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。	第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、文の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、学習課題に沿って、文を書こうとしている。
11月	固有種が教えてくれること【情報】統計資料の読み方グラフや表を用いて書こう	11	◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 ◎引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。	・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。	粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を書こうとしている。
	古典芸能の世界—語りで伝える	1	◎古典について解説した文章を読むことを通じて、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。	古典について解説した文章を読むことを通じて、昔の人のものの見方や感じ方を理解している。		進んで昔の人のものの見方や感じ方を知り、学習課題に沿って、古典について解説した文章を読もうとしている。
	カンジ博士の暗号解読	2	◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。	第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。		進んで漢字の読み方について関心をもち、これまでの学習をいかして、漸次書こうとしている。
	古典の世界(二)	1	◎親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。		進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って、漢文を音読しようとしている。
	漢字の広場④	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。	第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、学習課題に沿って、文を書こうとしている。
12月	やなせたかし—アンパンマンの勇気	5	◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 ○語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。 ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。	語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想	積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に基づいて、考えたことを交流しようとしている。
	あなたは、どう考える	6	◎目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ◎目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 ◎文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。 ○文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。	文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つ	粘り強く、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、意見文を書こうとしている。
	冬の朝	2	◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。	・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。 ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。	「読むこと」において、詩の表現の効果を考えている。	進んで詩の表現の効果を考え、学習課題に沿って、詩の楽しみ方を見つけようとしている。
1月	生活の中で詩を楽しもう	2	◎詩の表現の効果を考えることができる。 ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。 ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。	・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。 ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。	「読むこと」において、詩の表現の効果を考えている。	進んで詩の表現の効果を考え、学習課題に沿って、詩の楽しみ方を見つけようとしている。
	方言と共通語	2	◎共通語と方言との違いを理解することができる。	共通語と方言との違いを理解している。		進んで共通語と方言との違いに関心をもち、学習課題に沿って、それらを理解しようとしている。
	漢字の広場⑤	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。	第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、学習課題に沿って、文を書こうとしている。
	想像力のスイッチを入れよう	6	◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。 ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。 ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ・「読むこと」において、文章を	積極的に意見や感想を共有して、自分の考えを広げ、学習の見通しをもって、メディアとの関わり方について話し合おうとしている。

	複合語	2	◎語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。	語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。		進んで複合語の構成や変化について関心を持ち、学習課題に沿って、それらを理解しようとしている。
2月	伝わる表現を選ぼう	3	◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。	・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	積極的に、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って、手紙を書こうとしている。
	この本、おすすめします	7	◎目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自	粘り強く、目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、推薦する文章を書こうとしている。
3月	提案しよう、言葉とわたしたち	6	◎話の内容が明確になるように、事実と感想、意見を区別するなど、話の構成を考慮することができる。 ◎資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。 ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。	・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。	・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見を区別するなど、話の構成を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。	粘り強く話の構成を考え、学習の見通しをもって、提案するスピーチをしようとしている。
	日本語の表記	1	◎文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けられることができる ○仮名および漢字の由来、特質などについて理解することができる。	・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けられている。 ・仮名および漢字の由来、特質などについて理解している。		進んで、日本語の表記における漢字と仮名の適切な使い分けについて考え、学習課題に沿って、理解しようとしている。
	漢字の広場⑥	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる	第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、学習課題に沿って、文を書こうとしている。
	大造じいさんとガン	6	◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 ◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。 ○文章を朗読することができる。 ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。	文章を朗読している。	・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想	粘り強く、表現の効果を考え、学習の見通しをもって、物語の魅力をもとめようとしている。